



Be an ACE!

大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校

H26学校だより No. 25

平成26年10月10日発行

1学期終業式～1学期を振り返り、そして新たな決意で～

108日間の授業を終え、本日10日（金）に1学期終業式を行いました。全学年とも14日（火）より2学期がスタートします。短い学期間ですが、1学期間の成果と課題を振り返り、新たに決意をもって充実した2学期とするよう期待しています。6年生はいよいよ6年間の総決算の学期となります。健康に留意しながら時間を有効に使って最高の学期にしてください。

1学期終業式における校長講話

校長 武藤 正美

本日10月10日はちょうど50年前に、東京オリンピックの開催された日です。なんでも晴れの特異日できまったとか、確かに今日もよい天気で助かります。日本には勢力のきわめて大きな台風19号が来襲します。これからの数日間、テレビなどの報道に注意しましょう。

先ほどは、車椅子の贈呈式、I期生がまだ学校にいた24年度の終わり頃から、コツコツと回収してきたアルミ缶やペットボトル・キャップがこのような立派な成果となりました。皆さんのこれまでの苦勞がこのような形で成果となって、サンシャイン上越の皆さんに喜んでいただけるのは、この上ない喜びです。

古来、コツコツ実行することの大切さは、『塵も積もれば山となる』や『雨だれ石を穿つ』など多くのことわざで示されていますが、なかなか実現できないことでもあります。学習もなかなか成果がすぐに現れないので、似ているところがあるかもしれません。日々の変化はとても小さいので分からなくても、半年・一年などちょっと長いスパンで考えてみると、変化の大きさに気づいてきます。

車椅子のほかに860人分のポリオワクチンをミャンマー・ラオス・ブータンの国々に送ることができました。これもとても大きなことと思います。日本ではすでに克服したポリオ（小児麻痺）、パキスタンではタリバン勢力の妨害で予防接種が遅れ、この15年で最悪の状態であるという報道が最近ありました。世界にはまだまだ私たちの援助を求める人々が大勢います。今回の成果に甘んじないで、これからももっともっと、喜んでいただけるよう、お互いに回収の運動を続けて頑張りたいと思います。

学期の節目に、何を話そうかと考えていたら、一昨年と同じビッグニュースが飛び込んできました。あのときは山中伸弥教授のiPS細胞でしたが、今回は、青色発光ダイオードによって一挙に3人の日本人がノーベル物理学賞を受賞する快挙の報です。7日から新聞やテレビで多く報道されていますから、もう皆さんも充分分かっているかと思います。受賞された3人は、赤崎勇名城大教授(85)・天野浩名古屋大教授(54)・中村修二カリフォルニア大サンタバーバラ校教授(60)ですね。私たちの照明機器に大変革をもたらしました。

ダイオードという電子部品では、ずっと前の1973年に江崎玲於奈博士がノーベル物理学賞を受賞していますから、日本が強い分野といえるかもしれません。プラスの電気(正孔)が運び屋のp型半導体とマイナスの電子が運び屋のn型半導体をつないだ素子に電流を流すと光を発するのが発光ダイオードです。1980年代[みんながまだ生まれる前]には、すでに赤色や緑色の発光ダイオードは作られていました。青い光を出しそうな材質は当時、二種類考えられていたようです。主流の材質(セレン化亜鉛)は大企業をはじめ多くの研究者が研究していた中、他の人が見捨てたもうひとつの物質(窒化ガリウム)を粘り強く追究したのが赤崎教授。その元で大学院生だった天野教授が、当時常識と考えられていた高温での結晶づくりを、加熱する電気炉の調子が悪いので低温で実験して、きれいな結晶を作ることに成功したそうです。普通ならば常識にとらわれて、実験をしないことの方が多いのではないのでしょうか。

たしか江崎先生がエサキダイオードを発明する時も、混ぜる物質(リン)をなるべく少量にすることが一般的と思われていた中、濃度を高くしたことで新しい現象を見つけ、成功に至ったと思います。ともにその時には常識と思われていることにも、とらわれず行うことが大切なのでしょう。しかし、多くの失敗や間違いと思われた行動の中に隠されている真理を見抜くには、漫然として取り組んでは決して見つけることはできません。注意深く洞察する能力がカギのようです。

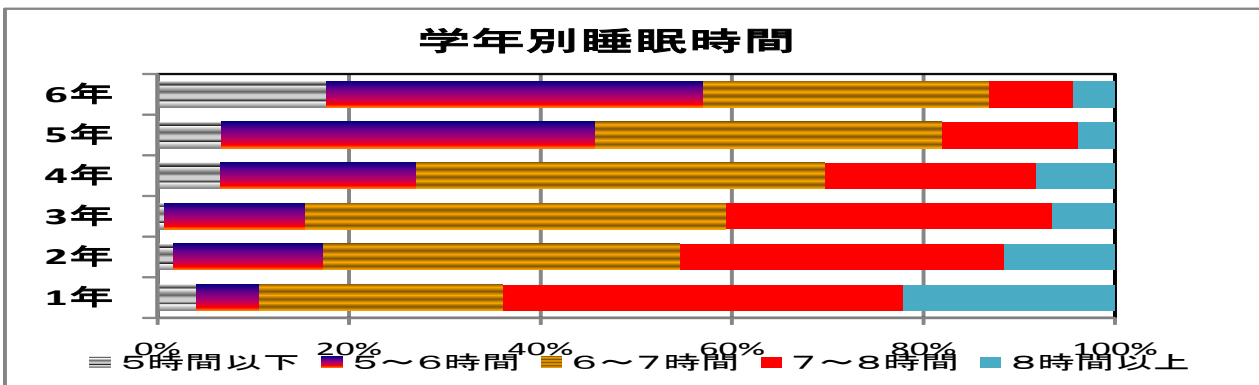
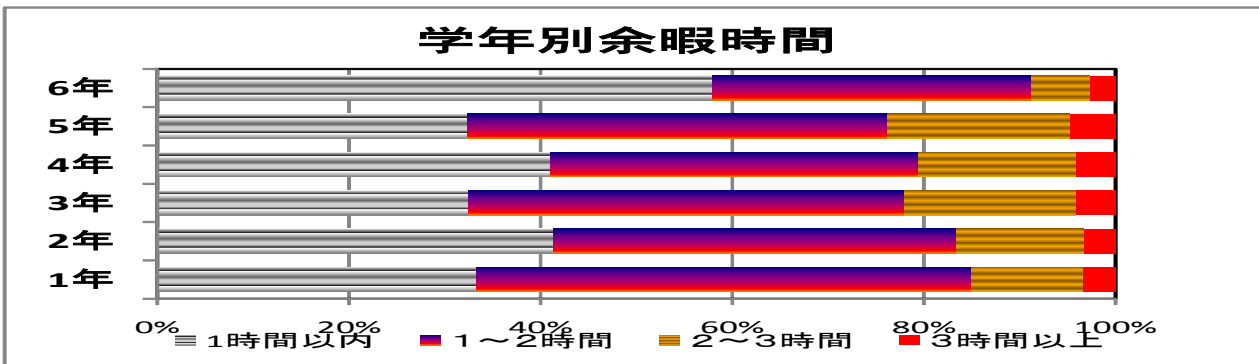
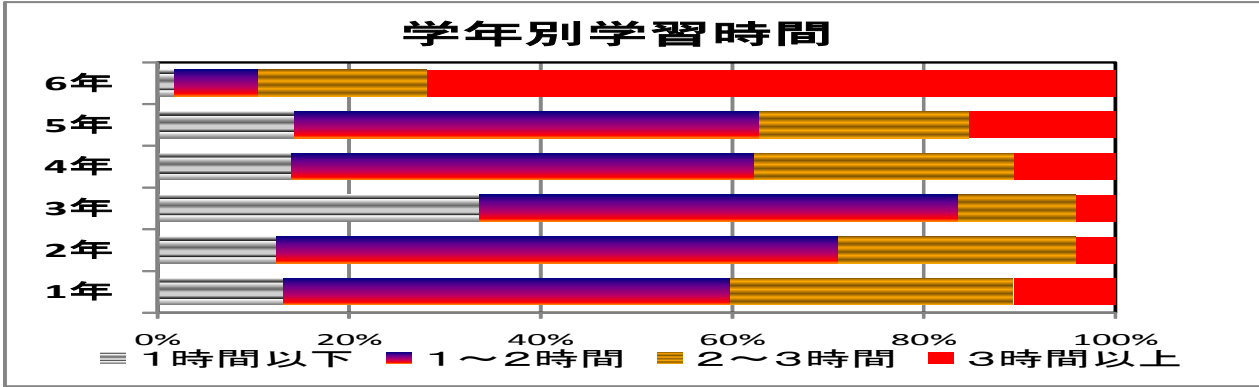
また、実用化で大きな功績を挙げた中村教授は、大学や会社も四国から出たことがないという、特殊な経歴です。今までのノーベル賞受賞者はほとんど東大・京大やいわゆる旧帝大出身であったり、大手企業の研究室勤務であることから、かなり特異に見えます。「有名大学の出身でなくても、田舎者でも、頑張れば世界レベルで何でもできるという証明ができた」という言葉からは、反骨精神の持ち主かなと思います。どのような環境でも、何をすべきかを明確に自覚することが最も大切なのでしょう。

今回の大ニュースは、私たちに大きな感動と日本人としての誇り、そして互いに頑張ろうといった気持ちをもたせてくれます。

さあ、来週からは、26年度の後半です。すぐに『Na o F e s』ですね。自分の新たな可能性を信じて、第二学期に臨みましょう。

生活・学習習慣調査の結果～学習習慣の確立を図ろう～

9月に実施した生活・学習習慣について調査した結果（平日の1日）を以下に示しました。



調査より見えてきたこと

- 5月調査に比べ、前期課程の生徒は学習時間が減少し、後期課程の生徒は増加した。とりわけ6年生の増加が著しいが、同時期の昨年度の6年生に比べればまだ努力が足りない。(本年度 3.91 h、昨年度 4.42 h)
- 3年生の学習時間が2時間未満の生徒の割合が他の学年に比べ多く、いわゆる「中だるみ」傾向が見られること（この傾向は中等教育学校全般に見られる）。
- 6月調査と比べ、6年生を除き、余暇時間が増加している。とりわけ、1、2年生の増加が著しかった。

来週の主な予定

- 13日(月・祝) ・PTA 奉仕活動（前期課程保護者対象）
- 14日(火) ・2学期始業式 衣替え完全実施
- 17日(金) ・文化祭 前日祭 6学年校外学習
- 18日(土) ・Na o Fes 本校第7回文化祭
- ・6学年全統マーク模試（学びの交流館）

祝 国民体育大会出場

田中 千華さん
 「大会」 長崎がんばらんば国体
 「種目」 山岳少年女子
 「期日」 10月17日～19日

お知らせ

大型で非常に強い台風19号が、日本列島を縦断する可能性があります。台風情報に注意し、厳重な警戒をお願いします。なお、台風の影響で13日(月)のPTA奉仕作業を中止する場合は、当日7:30以降に中等メールを出します。また担当職員が学校に待機していますので、直接お問い合わせください。